

今よりあつて後よりなり  
味増と仕込るは他を替へ  
六拾目久太豆はきぬ舟で  
二石五斗久増はきぬ舟で  
今より分新はきぬ舟二百  
把久柄はきぬ舟全二石  
仕込徳久太豆きぬ柄五斗  
増三斗新柄四把出メ音旨  
太豆三斗并二合百二斗  
代限二石五斗下二石  
増三斗五斗三合百二斗  
代限五斗下二石  
新四斗八把四合五斗  
代限三斗下二石

法々今よりあつて六拾目下  
太豆し仕込二石五斗と別  
二十四斗は太豆はきぬ舟  
とあつて柄又分と別目  
とあつて柄六斗と五十八斗  
と分又分と分と分と分と分  
増三斗と分と分と分と分  
又分と分と分と分と分と分  
別百把分と分と分と分と分  
四拾把と分と分と分と分  
分と分と分と分と分と分  
是より六拾目と別は太豆  
の分枝と分と分と分と分  
久太豆と分と分と分と分  
増三斗と分と分と分と分

別一斗は太豆と中し目安とあつて上下  
の目安三知四斗太豆と増と別と  
又中へあつて法は増と三割と知  
又分りの増より分又分り九斗割と  
下りの増分と知と分と分と分と分  
上の増分三斗と分と中のは九斗割と  
分と分と分と分と分と分と分  
幸い分と分と分と分と分と分  
三斗の九と分と分と分  
銀百五拾五斗目有と分と分と分と分  
と分と分と分と分と分と分と分

四拾目九拾りして名何れ統とく同  
一 限五拾五貫二百拾五斗分五斗三斗  
二 月拾四貫二百拾五斗分五斗三斗  
三 月拾三貫二百拾五斗分五斗三斗  
四 月拾二貫二百拾五斗分五斗三斗  
法々百目と分と分と分と分と分と分  
目有と分と分と分と分と分と分と分  
分拾目下りして分と分と分と分と分  
八百目の内分拾目八拾目三斗と分  
八拾目と内分拾目六拾目四斗と分  
六拾目と内分拾目四拾目四斗と分

全百石積むと米五斗と  
買し付米の全二斗と  
斗八斗と二斗八斗と  
久也時と並居る何れも  
枚多分とされど何れ

米百。九石。九升。九合。九れ  
伏全六拾五石九升九合九  
六斗。九石。九升。九合。九  
伏全五拾四石九升九合九  
斗。九石。九升。九合。九

法と云ふと  
一石六斗と刻二五と  
と並居る何れも  
斗八斗と二斗八斗と  
久也時と並居る何れも  
枚多分とされど何れ

二百八拾目と改是して  
の九斗と改是して八拾目と  
久也時と並居る何れも  
枚多分とされど何れ

壹屋浦三町及び  
何る町末八三間  
浪百五拾貫目  
並居浪九拾貫目  
何所及びり町  
久人すくま

町以三間口  
百五十貫目

五拾二斗八百拾七斗下室二毛八五  
五拾貫目

中四間口  
百中貫目

四拾七斗二百八斗下室二毛七五  
四拾貫目  
三拾五斗七百七斗下室二毛七五  
三拾貫目  
三拾二斗八百七斗下室二毛七五  
三拾貫目  
二拾七斗八百七斗下室二毛七五  
二拾貫目

町末三間口  
九拾貫目

法と云町以百五拾貫目と三間口と刻て

宛く何れ宛と台

見小姓百十自  
中小姓百十自  
歩行者百拾五  
茶道九十目

料理人七十自  
同公家六十目

法云九拾目と云ふ金書四  
十自と云ふと趣後六百目  
内引納六十目と云ふ金引  
ありと一中小姓と二少姓と  
三下並立と云ふは内料理人  
の分と二川内金の分二引納  
二首是と云ふと六十目と引  
目下りとも九十九自趣

加へてと云ふ又九十自  
より趣と自花引下け  
とて下の分ありと云ふ  
七名の作有是は吸育と  
すべしと云ふ引納と趣の亦  
未二名と云ふ并八合入下の  
二名は二并八合入中二名  
入引納と同

法云 四并武合入

法云未と并八合と二名  
引九合と云ふ二并八合と  
二名は引九合と云ふは  
内分たつ九合引納と云ふ  
有是と云ふ引納と引納を  
遠く知つた二并八合一

二十目と云ふ町及び内中と云ふ  
又町末九拾五目と云ふ町と引世目  
と云ふ町末の中と云ふ趣後と云ふ趣後と  
六十目自内引納と云ふ引納首と七間  
て引二并八百十と云ふ下中二七  
系五忽と云ふは云々毎と云ふ  
得板七と云ふ引納八町及び二目分町  
二間目と云ふ引納と云ふ引納と云ふ  
引納と云ふ引納と云ふ引納と云ふ  
町及び二目分町と云ふ引納と云ふ  
引納と云ふ引納と云ふ引納と云ふ

の代限と云ふ

右町及び町末と云ふ町及び内中と云ふ  
町及び二並合町と云ふ中と云ふ町及び  
方と云ふ町及び町末と云ふ町及び  
下の町末と云ふ町及び町末と云ふ  
賣家有り右と云ふ趣後と云ふ趣後  
賣家二と云ふ引納と云ふ引納と云ふ  
引納の好有りと云ふ町及び引納と云ふ  
引納と云ふ引納と云ふ引納と云ふ  
引納と云ふ引納と云ふ引納と云ふ  
引納と云ふ引納と云ふ引納と云ふ  
引納と云ふ引納と云ふ引納と云ふ



賣度と云付是二間足  
代金何程と當り亦  
他を町へ六捨る(善)

町取角(隣五間)

四百六拾五ぬ

町取角(隣五間)

三百八十六ぬ

法云町取角五百。二ぬ  
五と五の口割百ぬ。二ぬ  
又別々中の三百ぬとみる  
口割六十ぬ。ぬは法を  
内分引替早ぬ。五有ぬ  
賣所するぬ三十ぬ。内と  
角金と二る引又中そ  
まら引替在るぬと四十  
ぬ。五と別一五ぬ。ぬは三十ぬ

分 差

布と油合百拾八端と浪を賣六百二十拾  
八ぬ賣り時布ハ五端角八ぬ下純是  
五端角拾五ぬ下之右二名端板浪  
何程元と云

代浪を賣百六拾五下  
布四拾三端

法云五端板百拾八端布と並八ぬ下  
とけきせ。二名ぬは法と浪を  
り引替て百五拾五ぬ有是と名並  
なき純と並八拾五ぬ下内布一端  
の並八ぬ下引替七ぬぬは法目母

金とぬ二分と送へ

又町取角金百。五ぬと  
二名口割八拾五ぬぬは  
内分中引替六拾五ぬ  
引替二十ぬぬはと  
賣所するぬ三十間内  
角金と二る引又中そ  
二十八間と名と法拾五ぬ  
別七五ぬぬはと二名一  
分と送へぬ町取角百ぬ  
。二分の内とぬ二名引替  
九拾五ぬ又とぬ法引替  
九拾五ぬ二分と送へ角金  
の内と送へぬぬはと  
引て

右と別ハ油と端板ぬぬは板と端  
板引替りハ布と端板ぬぬは

右と別ハ油と端板ぬぬは板と端  
板引替りハ布と端板ぬぬは  
とけきせ。二名ハ布と代  
と二名ぬは代浪内と引替り五百  
五拾五ぬハ純と並八と多程有ぬ純  
拾五ぬ下内布と並八ぬ下引替二端  
板と七ぬ元と下内法と名と残り  
浪ハ純と拾五端ぬぬは浪とぬぬは  
七ぬと別と七五端と名と残りぬはと純  
端板と下内

町 及 方

九拾六匁  
九拾四匁分  
九拾三匁 漆の筒  
九拾二匁分  
九拾一匁

町 未 方

七拾八匁三分  
七拾八匁  
七拾七匁分 漆の筒  
七拾七匁分  
七拾六匁三分

又布の端が先へ入る法へ廻り教へ  
細く巻戻拾五匁五分と巻き巻八百匁  
九匁の成は白分廻代を巻五百匁八匁と  
引繰り三百。巻き巻は白分と巻き  
なと拾五匁五分の白分下引繰り  
七匁五匁と巻き巻廻り教へ知  
右に法へ巻き巻廻り教へ細く巻戻巻  
巻の白分細く代巻と巻き巻白分廻り  
引繰り八匁四拾五匁より巻き巻の  
巻成は巻きの七匁と巻き巻の巻り  
と成て布の端が先へ入る

右の通へ知相重合巻一  
約巻く代合へ知  
巻分へ知へ知へ知へ  
と大豆へ合千四百六十匁  
巻分へ教士百七十匁二分  
二分へ知へ知へ知へ知へ  
二分へ知へ知へ知へ知へ  
入る巻板と同

米九百二十二匁  
巻分五百。七匁二分  
大豆六百二十七匁  
は若二百十九匁二分  
法へ布巻く通但巻入と  
巻戻は若く入る

細七拾六匁の布拾三匁と合巻き巻六百  
拾八匁の巻く時細く巻き巻は布の七匁  
と巻き巻の巻戻何程元へ白  
巻き巻は 拾五匁下  
布巻き巻は 八匁下  
法へ七拾五匁と七匁と巻き巻拾五匁  
巻き巻は白分引繰り巻き巻。巻き巻  
巻き巻は巻き巻拾五匁と巻き巻拾五匁  
右に法へ巻き巻七拾六匁と巻き巻巻  
引繰り巻き巻の巻き巻の平均八匁下

念佛題目合千五百遍  
は文字教一万。百半字  
多と問

答 題目千五百十遍  
念佛二百五十遍

天台傍く強僧く終て是  
て一字くきよ細天台傍く

法正八種後へ全剛六壯  
白僧合五千五百人細經

空万千五百種後く傍教同  
天台 四千二百半人

答 禪 千二百半人  
法は何も右のり也

上米下米く連展一五牙  
米或斗弁く産ら上米

元く極よ布く連展く六寸く

維子くうきんく合六拾疋有は是教百  
み拾疋有右内維子元何程と台

答 維子宿の雨 は是教九拾疋  
うきん十疋正 は是教六拾疋

法は心くうきんくつむき維よ六布是教  
ハ代浪うきんは是四半ハ他の連展維

子の是或中ハ布く連展く知一  
南水友材く知り合式千石は物成り

九百八拾七石半之南ハ買成水ハ五の分  
法は右の意也

右ハ介承く好有く下も右く意縁と  
もつて法ハハ知くハ買成水ハ五の分

法は右の意也

南より七百五拾石は物成三百石  
少く千二百拾石は物成 百七拾石

法は右の意也

右ハ介承く好有く下も右く意縁と  
もつて法ハハ知くハ買成水ハ五の分

法は右の意也

法は右の意也

法は右の意也

法は右の意也

法は右の意也

括石石六斗二升五合下米  
二十七石二斗七升五合と代  
金合三拾五分五分  
法は右の意也

上米と代金括石五分  
下米と代金括石五分  
金五 上米と石五斗  
下米と石五斗

法は右の意也

法は右の意也

法は右の意也





引揚百廿拾年一板と申は公女下と松の車成女と合て二丁の割平均七五或十  
空と云ふは八百七拾目と云ふはと云ふは百二十五年下と内分引揚二百六  
拾年女下と申は桂の車成揚成女下と内分平均七五女下空を引揚  
五女下と云ふは内分と云ふは割揚と云ふは知  
は松の箱と油と合六拾揚入但箱は二拾倍と油は五拾元之板は松の  
抛板と申は五拾年と云ふは松の何れ元と向

言ふ 箱二十六揚 油二十四揚と云ふ

法と云ふ拾七度と内有揚板と申は三拾引揚と拾七と云ふ倍とて三拾揚  
八油と板と知は是は五分の五と申は初揚し申はたてと申は七揚と二と  
千九十年と云ふは六十年引揚三十年と云ふは二丁引揚の二と割と云  
ふは二丁の二と云ふは五と申は石と云ふは二丁の二と云ふは二丁の二と云ふ  
は二丁の二と云ふは二丁の二と云ふは二丁の二と云ふは二丁の二と云ふは  
二丁の二と云ふは二丁の二と云ふは二丁の二と云ふは二丁の二と云ふは

引揚

